



2025年度

スタートアップ教育支援プログラム

「地動計画」第3期

参加者説明会

高専品川キャンパス 2025年4月30日(水)

高専荒川キャンパス 2025年 5月 1日(木)

自分のアイディア・専門性を活かしたい！
社会課題の解決にチャレンジしてみたい！
とにかく何かやってみたい！
スタートアップってなんだろう？
起業ってどうしたらいいの？



そんなあなたのために…

2023年度、産技高専は
スタートアップ教育支援プログラムを
開始しました。今年は第3期です。





地動計画 第3期 「スターティングコース」説明会

4月30日(水) @品川キャンパス

5月1日(木) @荒川キャンパス

スタートアップの印象・意味・イメージは？

地動計画的に言うと、

- ▶ 旧態依然としたあたりまえを、
より良いあたりまえに変えていく存在
- ▶ 身近なところから社会全体を
動かしていく可能性をひめた存在

地動計画

Discovery Create Proof

【地動計画 プログラム一覧】

産技高専 PLAY CAMPUS

個別相談や情報収集など
必要なことを必要なだけ活用できる
通年プラットフォーム

※現在リニューアルに向け改修中

スターティングコース

自らの着眼点をプロトタイプとして
「つくりはじめる」 コース
(開催：7月～11月)

アドバンストコース

アイデアやプロジェクトの
「事業化」 を目指すコース
(開催：12月～3月)

仕事に就くことだけが人生の選択肢ではないこと。

（好きなモノを作り続ける人生や環境は自分でつくっていける）

他人のものさしではなく、自分のものさしで挑戦すること。
（そして、それは誰にでもチャンスがあり、特別な人だけの手札ではない）

普段学んでいる and これから学ぶ技術や知識、
ぼんやりとでも浮かんでいるアイデアや思いについて、
社会や未来におけるポテンシャルを探求すること。

（皆さんが持つ、まだ見ぬ可能性や選択肢への気づき）

自分たちの身近にあるあたりまえを、
自分ならではの「着眼点」や「ものの見方」をもとに、
「より良いあたりまえ」へと**つくりはじめる機会**。

自分以外の**第三者にもその価値を実感・体験させられる
プロトタイプ**をつくり、何度も試行錯誤を重ねながら、
MY地動計画^(※)を磨いていく。

※「身近にあるあたりまえ、旧態依然としたあたりまえを、自らの着眼点をもとにより良いあたりまえへ変える」ための個々の計画、活動のことを指します。

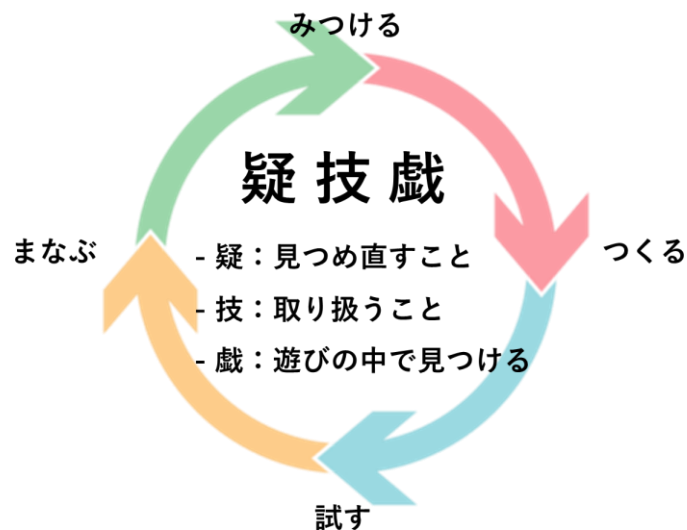


【コアとなるアクティビティ（活動）】

第三者に価値を実感させることができるプロトタイプをつくる

実践を通じてMY地動計画を磨く

【ベースとなる思考フレーム】



【実践と学びを後押しするメニュー】

起業家・クリエイターからの助言

コーディネーターによるフォロー

プロトタイプ製作費補助
(ひとり10万円)

同期メンバーとの相互支援

各種ツール・アイテム

文化祭・成果報告会

2025
11.1-2

研究/探究を続ける

アイデアを
社会実装してみる

スタートアップを
立ち上げる

インターンする

プロトタイプを
国内外で試してみる

などなど

ダイジェスト：7月 オリエンテーション&全体向けプログラム（キックオフ）

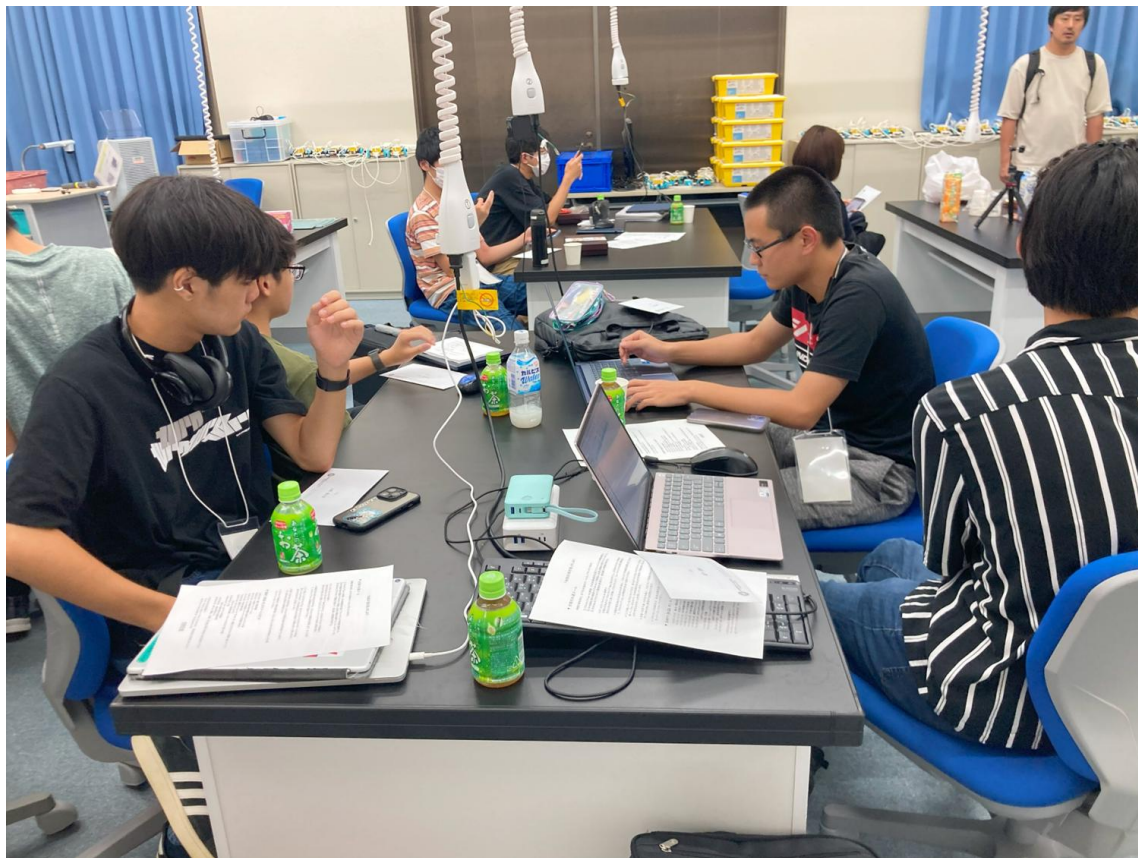


自分の着眼点をクリエイティブにカタチにするプロセスを爆速で体感する1Dayワークショップからスタート。
文化祭に向け、自分の開発を進めていく上で役に立つナレッジやスキルを獲得していきます。

ダイジェスト：8月 フィールドワーク合宿 (2泊3日)



仲間との交友を深め、お互いに刺激を得ながら自身のアイデアをブラッシュアップすることからスタート。
フィールドワークを行いながら、最初のプロトタイプ (超ラフ、ボロでOK) を開発していきます。



合宿以降も参加学生同士で集まり、互いに助け合ったりしながら、プロトタイプVer.2やVer.3を開発。文化祭(報告会)での展示に向けた準備も行っています。



自分の着眼点をもとに試行錯誤を重ねてきたプロトタイプを文化祭の来場者へ展示・発信。体験者からの反応やフィードバックを収集し、プロトタイプや自分の地動計画（MY地動計画）をより進化・深化させたり、自分なりの手応えを得ていく機会とします。

スマホの充電が
なくなる不便（悲劇）を
なくしたいなあ。

音が鳴る目覚ましが苦手。
音じゃない手段で
起きたいなあ。

やることや
行く場所がない時間って
なんかもったいない。

なんでネットの炎上って
起こるんだろう？

少しの知識で、
世界はもっと面白く
見えるはず。

スマホの充電
がなくなる不
便(悲劇)をな
くしたいなあ。



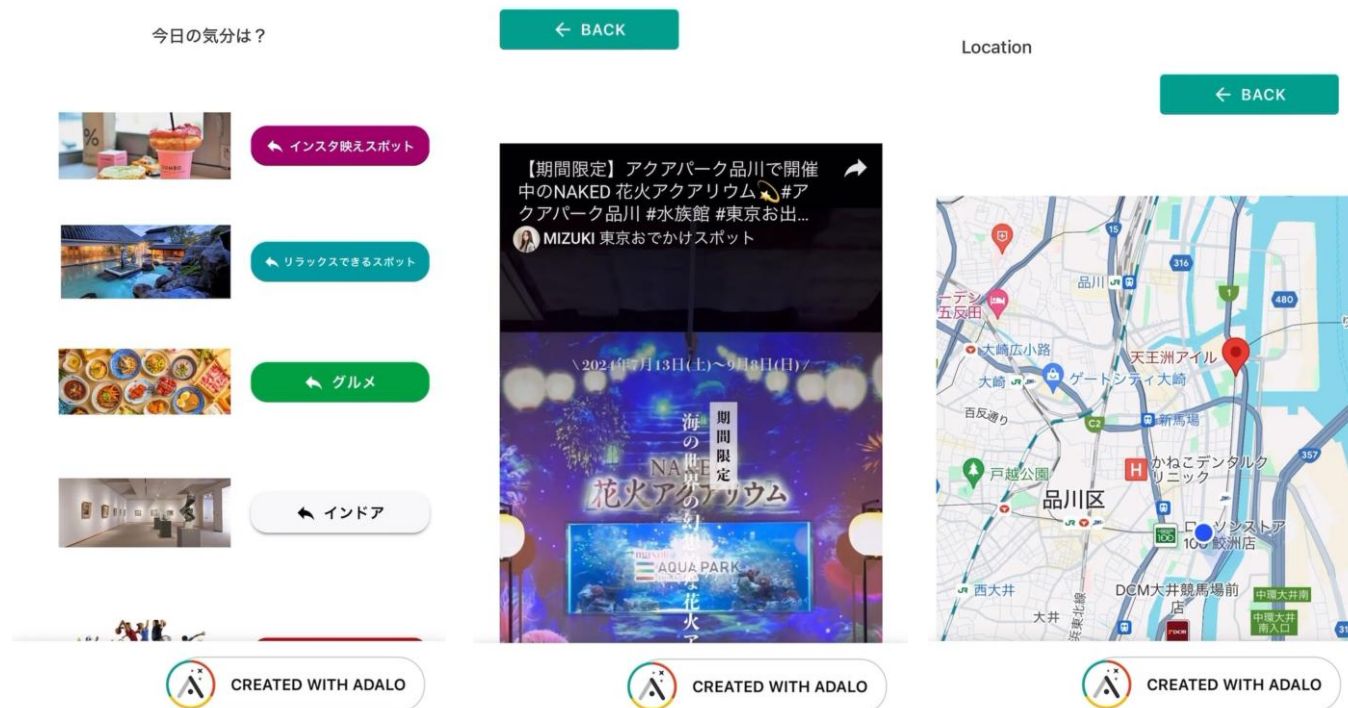
思わず気をひく充電器『充電気』

音が鳴る目覚まし
しが苦手。音じ
ゃない手段で起
きたいなあ。



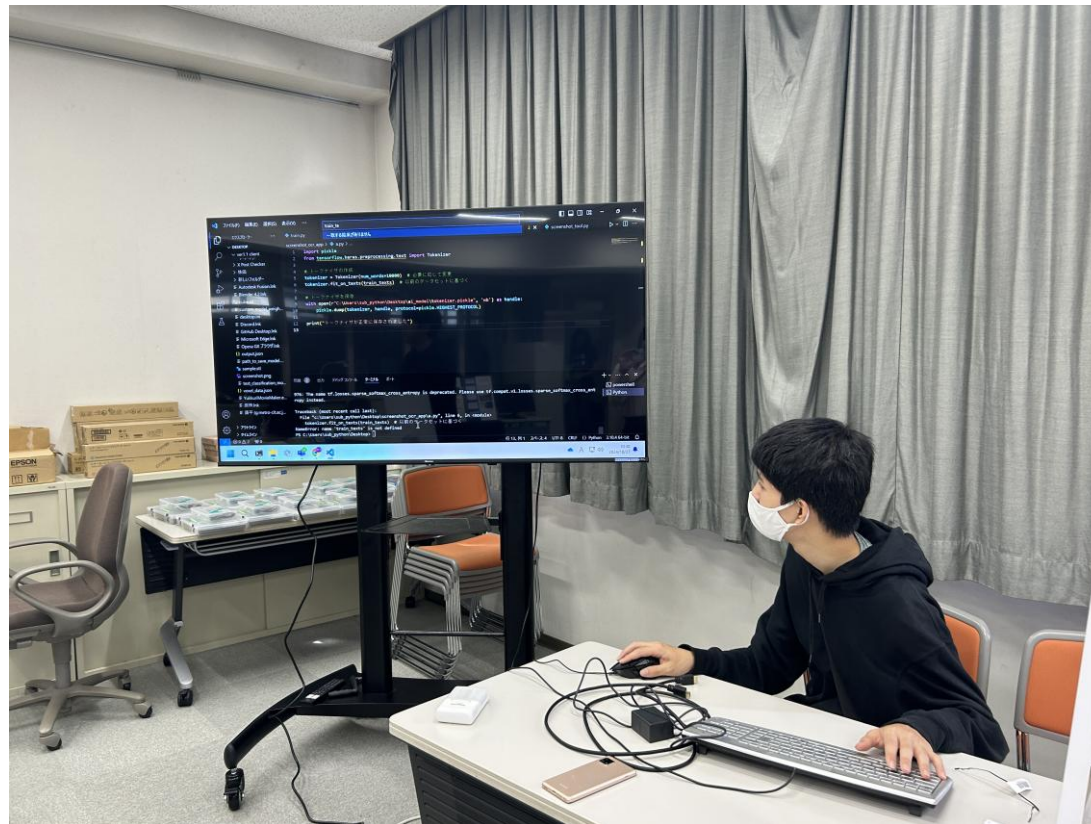
どこを向いても届く『光で起きる目覚まし』

やることや
行く場所が
ない時間っ
てなんかも
つたいない。



知らなかった場所との出会いを提供するアプリ

なんでネットの炎上って起こるんだろう？



投稿の内容に問題発言がないかなど確認できるプログラム『twiguard』

少しの知識で、
世界はもっと
面白く見える
はず。



No.1 いつもの日常がピクセルアートに!?
『ピクセルアート化VRゴーグル』



普段の日常も技術を通してみると、
違って見える。
『知』によって、異なった
視点から見る世界の面白さ
を感じよう。



No.2 NFC技術ってすごい!
スマホを使って絵が変わる!?



『NFC絵画』

改札やタリ千決済で使うICカードや
スマホに使用されているNFC。
NFCについて学び、新しい遊びを体験し、
活用法を考えよう。

No.3 プロジェクションマッピングって
どうなってるの〜!?

『プロジェクションマッピング
ワークショップ』



プロジェクションマッピングってすごすぎた
どうなってるのよくわかんない。
自分の好きな動画をマッピングして
オリジナルプロジェクション
マッピングに挑戦しよう。

世界の見え方が変わる『知は豊かさなり展覧会』(イベント)

このさき続いていく人生の中で、

ふと何か疑問を感じた時、
何かやってみたいという想いが湧いてきた時、

その感情をクリエイティブに、自由にカタチにでき、
世の中に発信していくことができるようになる。

それができる、という肌感覚・実践力を
ひとりひとりが育み、獲得できている状態へ。



考えるだけでなく、体感を伴う形で
やってみたかどうかの影響は大きい。
(自転車は一度乗れたら5年後、10年後でも乗れる)

「地動計画」概要

(1) 実施場所	東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス・荒川キャンパスと周辺エリア、 宿泊施設(23区内予定)
(2) 実施期間	2025年7月12日(土)～2025年11月2日(日)
(3) 募集人員	20名(両キャンパス合計)
(4) 応募資格	本校ものづくり工学科1～5年次の学生で、将来、自らの専門性をもって社会課題の解決にチャレンジするエンジニアを目指し、本プログラムに積極的に取り組める学生
(5) 実施内容	①スタートアップに関する基礎講座 ②学生毎に設定するプロジェクトに対する先輩起業家のフォローアップと特別講座 ③仮説検証スキル向上のためのフィードワーク合宿 ④プロジェクトの成果を報告会
(6) 担当教員	[A]吉村学生主事、杉本准教授 [S]澤田学生主事、大野教授
(7) 宿泊	あり(2泊3日のフィールドワーク合宿では23区内の宿泊施設を利用予定)

今後の主なスケジュール ①

●プログラム開始まで

学生向けプログラム説明会	[S] 4月30日(水)15:30 [A]5月1日(木)15:30
参加申込締切(第1次)	5月14日(水)17:00 → 5月16日(金)本人宛に結果通知
保護者・学生向け説明会	[S] 5月21日(水)15:30 [A] 5月22日(木)15:30
起業ワークショップ	[S] 5月21日(水)16:30 [A] 5月22日(木)16:30 【起業ワークショップは説明会後に開催。どちらかのみの参加も可】
参加申込締切(第2次)	6月18日(水)17:00 → 6月20日(金)本人宛に結果通知
参加者個別面談	6月25日(水)～7月4日(金) 【日程は個別に調整して決定】 〈オンライン〉

今後の主なスケジュール ②

●プログラム開始～

7月12日(土)	10:30～11:30 参加者向けオリエンテーション 12:30～17:30 全体向けプログラム	〈集合〉
8月9日(土)	フォローアップ会&フィールドワーク準備会	〈集合〉
8月20日(水)～ 22日(金)	フィールドワーク合宿 (外部宿泊施設を利用)	
9月5日(金)	10:00～12:00 集中開発DAY①	〈集合〉
9月17日(木)	10:00～12:00 集中開発DAY②	〈集合〉

今後の主なスケジュール ③

●プログラム実施中

9月27日(木)	13 : 00～16:00 中間報告会	〈集合〉
10月15日(水)または16日(木)	成果報告会準備会①	〈オンライン〉
10月27日(月)または28日(火)	成果報告会準備会②	〈集合〉
11月1日(土)・2日(日)	成果報告会@文化祭	

※上記日程は状況に応じて変更することもあります。その際は事前にお知らせします。

※「集合」と記載のある日程の会場は、品川キャンパス or 荒川キャンパスの予定です。

※上記の他、8～10月にフォローアップ個別面談を行います (月に1回、1回30分～60分)。

日程は、学生毎に調整して決定します。

本プログラムに係る費用は、以下の通り学校と参加者のそれぞれで負担します。

【学校が負担する費用内訳】

1. プロトタイプ制作費用(1 人当たり10万円 ※下記の通り、例外あり)
2. スタートアップに関する講座参加費用
3. 外部講師(先輩起業家など)講演費用
4. フィールドワーク合宿中の宿泊料、交通費、食事代

【参加者が自己負担する費用】

1. 活動を行う両キャンパスへの交通費
2. 学生が個人的に利用する外部施設の利用料や交通費
3. 学校の契約手続きによる購入が困難な物品等の購入費用

(例：先払が必要なもの、海外販売サイトでのみ購入可能なもの、実施期間内での納品が困難なもの 等)



Entrepreneurial **T**rainings for **I**nnovative **C**ommunities.

創業から30年、若者の「こんなことをやってみたい」を応援し、
新しい未来を共に仕掛ける伴走者として活動しています。

【累計】

輩出起業家数

1,915 名

【累計】

実践的なプログラムへの参加者数合計

約 12,500 名

Move Forward. ETIC.

行動を起こす人に伴走し、つなぎ、
ともに「あたらしい社会」をつくる。

ETIC.という名前は、Entrepreneurial Training for Innovative Communities. の頭文字をとったもの。
私たちは、「アントレプレナー」を増やすために約30年活動してきました。

NPOと言えば「社会のために活動している団体」と見られがちですが、どちらかと言うと私たちは
「こんなことをやってみたい」という個人の挑戦を、応援・支援してきた団体です。

想いのある人に必要なサポートをする。志を同じくする人とつなぐ。

さまざまな人や組織と一緒に、みずからプロジェクトを立ち上げる。

時代のフロンティアで積み重ねてきた活動は、少しずつ、でも確実に社会の変化を生み出してきました。

企業人であれ、学生であれ、地域や社会の課題に取り組む人であれ、想いを持った個人とともに

私たちはこれからも「あたらしい社会」をつくる活動を続けてゆきます。

企画運営：認定NPO法人ETIC.(エティック)について

プログラム(例)

アイデア段階の人たちを支援するもの含め、さまざまな支援プログラムを実施しています。

400字から世界を変えるスタートアップコンテスト TOKYO STARTUP GATEWAY



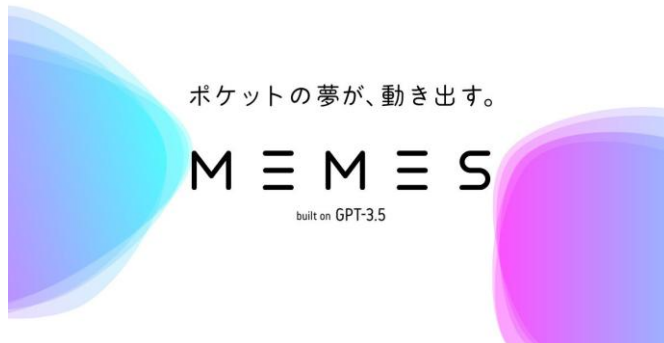
次世代イノベーターのための私塾 MAKERS UNIVERSITY



起業家やリーダーと共に挑む、 実践型インターンシップ・複業プログラム



自分らしいアイデアや夢を描く手がかりに MEMES - Clue Generation Service -



全国の先進自治体とつくる ローカルベンチャーラボ



社会起業家特化の伴走支援プログラム 社会起業塾イニシアティブ



地動計画
Discovery Create Proof